

『6月とスローな夜』

2020. 6. 15

美幌町図書館長 竹花 史康

6月は、「水無月」と呼ばれていますが、これは水のない月と言うことではなく、「水無月」の“無”は、“の”にあたり「水の月」ということになります。田植えが済み、田に水を張る必要があることから「水無月」と呼ばれるようになったと言われています。

北海道の6月は、梅雨がないので一年の中でも、とてもすがすがしい時期です。まだまだコロナ禍のなか、厳しい生活が続いていますが、なんとか気持ちのよい初夏を感じながらがんばっていききたいものです。

さて、「100万人のキャンドルナイト」というイベントをご存じでしょうか。夏至・冬至、夜8時から10時の2時間、世界中でいっせいにでんきを消して過ごすというものです。たとえば、ロウソクのひかりで心静かに絵本を読んであげるのもすてきなことだと思います。

私も今年の夏至こそ、でんきを消し、スローな夜を過ごすことで、心を穏やかに過ごしたいと思っています。ちなみに、今年の夏至は、6月21日の日曜日です。

